

降誕節第八主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏 (黙禱)
「イエスはわが喜び」(讃美歌 21 の 525 番)
M.バイエル作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/432 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編 106 篇 19～23 節

【み言葉の礼拝】

聖 書
✦箴言 8 章 32～36 節
✦ルカによる福音書 15 章 11～25 節
(旧約 P.1001、新約 P.139)
応 答 唱 讃美歌 21/38 番
教 話 井上隆晶牧師
『幸せはどこに』

使徒信条

【聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番
教会の祈り (連禱)
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/451 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉 井上隆晶牧師
祝福の祈り //
後 奏 (黙禱)
「天の輝きの宿る都よ」
(URBS BEATA JERUSALEM)
(讃美歌 21 の 576 番) 単旋律聖歌集より

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 澤田昌人
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 アナスタシア・V
受付当番 屋宮英男

【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9 時 30 分)
・お話し: 澤田昌人
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈禱会 (礼拝後)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り
・2月18日(火) 午前8時30分
・2月21日(金) 午前9時
◇英会話グループ
・2月20日(木) 午後7時30分

【次週主日 2月23日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)
・お話し: 井上万里子
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)
・聖 書
✦創世記 3 章 1～13 節
✦マルコ福音書 12 章 28～34 節
(旧約 P.3、新約 P.86)
・教 話 井上隆晶牧師
『墮落とは』

・讃美歌 21 524、38、419
・交読詩篇 詩編 107 : 1～9
・司式補佐 寺田律子
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 山千代憲一
・受付当番 澤田真弓
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈禱会 (礼拝後)

聖 句

「食べて祝おう。この息子は死んでいたので生き返り、
いなくなっていたのに見つかったからだ。」

(ルカ 15 章 24 節)

【諸報告・個人消息】

- ① 《今週の井上牧師の予定》: 17 日 (月) 午前 10 時 30 分「大阪キリスト教連合会役員会」、18 日 (火) 午前 10 時「心の病の勉強会」、22 日 (土) 午前 10 時「あやめ保育園理事会」、午後 1 時「弁護士講演会」
- ② 《2 月～3 月の行事のお知らせ》
 - 2月18日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
 - 3月2日(日) 「謝罪の祈禱・灰の式」、午後1時「定例役員会」
 - 3月3日(月)～4月19日(土) 「受難節・大斎」
 - 3月5日(水) 午後2時「YWCA 聖書を学ぶ会」会費 500 円
 - 3月9日(日) 礼拝後「教会学校教師会」
 - 3月16日(日) 「中部地区交換講壇」(東梅田教会)
 - 3月18日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
- ③ 【祈禱課題】
 - 宗教法人を取り、広い礼拝堂を建築するため。
 - 都島教会が宣教する教会になるため。
 - 病人が癒されるため。
- ④ 【先週の集会統計】

日	集会	男	女	大人	計	礼拝献金
9	CS礼拝	-	1	6	7	¥1,850
	集会	男	女	子ども	計	礼拝献金
9	朝の礼拝	8	14	5	27	¥28,646
11	朝の祈り	2	3	-	5	
14	朝の祈り	5	3	-	8	

- ⑤ 【2/9 の献金報告】[月定] 小淵公子、澤田真弓、寺田律子、畑季史子、畑真理奈 (計 44,000 円)
[受洗・誕生日・感謝] 飯田雅子、井上万里子、上中岳人、畑真理奈、寺田和也、黒澤公子 (計 36,000 円)
[互助] 屋宮英男、澤田真弓、寺田律子、山千代憲一 (計 4,000 円)
[建築] 澤田真弓、寺田律子、畑季史子、畑真理奈 (計 10,500 円)
* 謝恩日献金は2月末まで受け付けます。ご協力をお願いします。

【先週の説教要旨の続き】

あなたも恐れず高い所から降りて来なさい。背伸びをせず、立派にならずとも主はあなたと親友になりたいのです。この時、ザアカイの五感と全身は、この世ではなくキリストに向いていました。それを回心といいます。回心とは自分の過ちを悔いることではなく、私たちの全身(命)をキリストに向けることなのです。

③ 【キリスト中心の生活を始める事】 イエス様との出会いは彼を満たしてしまいました。ザアカイは生活が 180 度変わったのです。彼はその後、ペトロの弟子となり、カイザリアの主教になったそうです。イエス様は言われます。「今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。」(9～10 節)

キリストがこの世に来られた目的は、「失われた人を捜すため」でした。「失われた」とは、ある物が本来あるべき所から離れ、誤った所に置かれている状態をいいます。人は神の側に置かれるように創造されました。ですから生活が、神中心とした生活、キリスト中心の生活に変わらなければならないのです。生活が変わること、この世中心から、神の国中心に変わること、この世に死に、神の国に生きること、この世の価値観を捨て、キリストの価値観に変わるのです。そのために私たちはキリストによって新しく創造されたのです。「世の事に関わっている人は、かかわりのない人の様にすべきです。」(I コリント 7 : 31) と言われていますが、残念ながら今のクリスチャンはこの世の課題ばかりに熱心に取り組んでいます。この世に死んでいませんから、神の国にも生きていないのです。だからこの世の事で議論し、裁き合うのです。キリストは皆さんをこの世から引き出し、天国に集めたのだという事を忘れないください。そして残された時間で、天国の生活をどうか身につけていただきたいと思います。